

論点

ピアス型イヤリング(以下ピアスと略称)が、その是非はともかく、若い女性の間で大流行だ。少しでも美しくなりたい彼女らの心のうちを思うと、この現象はほほ笑ましくさえある。

しかし問題は、その管理だ。これまで学会などでの報告は多くないが、ピアス皮膚炎の実態は放置できないものがある。

我々はこの実態を知るために、何らかの疾患で我々の病院を訪れている百三症例のピアス例(男性三例、女性百例)に対しアンケート調査を行い、皮膚炎の現状を検討した。ここではその結果を報告し、読者の注意を喚起したい。

まずピアス皮膚炎の発生率だが、百三例のうち四四・七%に当たる四十六例期に相当し、他人との差別が、化膿(かのう)や金属アレルギーなどのトラブルとも関連している。おかげさ

の結果を報告し、読者の注意を喚起したい。

まずピアス皮膚炎の発生率だが、百三例のうち四四・七%に当たる四十六例期に相当し、他人との差別が、化膿(かのう)や金属アレルギーなどのトラブルとも関連している。おかげさ

卒業することはかなりではないが、この年齢が自我の完成期に相当し、他人との差別が、化膿(かのう)や金属アレルギーなどのトラブルとも関連している。おかげさ

それは、ピアス装用の理

ピアス皮膚炎への十分な知識、管理を



みよし 彰

(耳鼻科医)

してピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。

ピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。

ピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。

ピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。

ピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。

ピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。

ピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。

ピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。

ピアスをはずさない彼女らの心境が、この結果からつかえる。どこでピアスをしたかとの問いに対しては、自分でしたとの回答が四十例と最も多く、次いで自分の選んだ病院で、購入した店で、この穴の完成期間に対する錯覚に基づいている。